

日本原子力学会核燃料部会 平成20年度第五回運営委員会議事録

日時 : 平成21年3月24日(火)10:30~11:45

場所 : 東京工業大学 西8号館W831

出席者 : (順不同 敬称略)

岩田部会長、安部田副部会長、阿部委員、伊東委員、大平委員、木下委員

緒方委員、小林委員、佐藤(修)委員、杉崎委員、高野委員、更田委員、原田委員、

松浦委員、森山委員、山脇委員、若松委員

篠崎氏(田内委員代理)

議事

1. 前回運営委員会議事録案確認

阿部委員から、資料No.1に基づき、前回運営委員会議事録案が提示され、了承された。

2. 運営委員の変更について

阿部委員から、資料No.2に基づき、運営委員の変更について紹介され、了承された。

3. 平成20年度収支状況および平成21年度予算案について

阿部委員から、資料No.3に基づき、運営委員の変更について紹介され、了承された。

- 平成21年度予算案は、基本的に平成20年度予算並みであるが、部会配布金、管理費配賦額については学会からの連絡を反映している。また、「核燃料高度化ロードマップ」実行委員会運営費を核燃料部会予算に反映している。

4. 総会資料について

阿部委員から、資料No.4に基づき、第32回核燃料部会総会資料(案)が紹介され、了承された。

5. 平成21年度夏期セミナーについて

・ 伊東委員から、資料No.5に基づき、燃料、材料、水化学3部会合同で計画されている平成21年度夏期セミナーの講演プログラム準備状況(講師、演題)が紹介された。今後の予定については、4月末日途にプログラム(講師、演題)を決め、5月初めには各部会にて募集を開始する。開催日、場所は、早く知りたいとの要望があることから、早期にホームページ掲載することとなった。

- 3部会合同で150人規模の開催を目標としている。

- 1日目は3部会部会長による基調講演、各部会基礎分野の講義、2日目は現場での課題からなる。基礎分野の講師は、若手(30代後半まで)を予定していた。材料、水化学は若手ではないが、基礎を語る相応しい人選となっている。

- 地元関連は、中国電力発電所ツアー100名程度、発電所既見学者用として石見銀山ツアーを計画している。石見銀山ツアーは、20~30名(バス1台貸切)希望者がいれば実施する。

・ 学生の参加について配慮すべきとの意見が出され、平成22年度以降は開催時期、曜日(土日またぎの開催)を含め検討することとなった。開催時期選定にあたっては、講義、(京大炉)実験のスケジュールにも配慮する必要があるとの意見が出された。今回については、部会残金の活用も視野に入れ、費用補助(発表者補助、賞等)を出すことを検討することとなった。

6. 平成21年度業務分担について

阿部委員から、資料No.6に基づき、平成21年度業務分担案が紹介され、了承された。ただし、三菱原子燃料分野は組織変更が予定されており、変更後はMHI、MMTL(被覆管部門)はMNFとなること、変更後調整が必要であれば、MNFにてフォローし、次回業務分担にて反映することとなった。

7. 「燃料高度化ロードマップ」実行委員会活動状況について

阿部委員から、資料No.7に基づき、今年度の「燃料高度化ロードマップ」実行委員会の活動状況について紹介され、以下の議論があった。実行委員会議事録については、核燃料部会ホームページに掲載することとなった。

- RIA基準など他国と比べ厳しい基準となっているものがあるが、基準の合理性検討を求める民間発議が弱いのではないか。

- 安全基準の見直しは、国、民間、それぞれの立場で役割を果たさなければならない。他国との比較の観点では、他国で要求されていて日本で要求されていない項目もあり、一点だけの問題ではない。

- 新設計導入に対して基準がクリティカルというより、むしろLUAをやって照射実績を見て導入、海外での照射データを見て国内導入を判断のようなプロセスに問題がある。

- ナノテク等技術進歩のなかで、従来からのCook & Lookアプローチに見直しの余地があ

る。メカニズムのあるところで押さえているので、やってみようということがあっても良い。

- 規制の基準、プラクティスに対する、不満を明るみに出して、議論していく。それによって変えていくことが重要である。

8. その他

・ 木下委員から資料No.8-1に基づき、5月に韓国済州島で開催される日韓合同セミナーへの出講要請がなされた。核燃料部会として、既に東北大佐藤先生から出講の申し出があるが、それに加え、電中研園田氏に出講(3次元アトムグループ)をお願いすることとなった。

・ 木下委員から資料No.8-2に基づき、2009WRFPM/TOPFUELへの会議、エキシビジョン参加要請があった。

・ 若松委員から部会報冬版が2月に発行されたことが紹介され、発行への協力に対してお礼がなされた。

・ 今年度末が設置期間となっている「核燃料技術基盤の高度化」研究専門委員会の今後の予定(継続、後継専門委員会)について、質問があった。部会の同意を得て設置された専門委員会であり、今後の予定について改めて部会に対して説明することとなった。

・ 次回運営委員会は、5/11の週を候補に、後日日程調整を行うことになった。

以上

過去の運営委員会議事録の一覧はこちらです。

[過去の運営委員会議事録一覧](#)

[もどる](#)

(c)[日本原子力学会核燃料部会](#) : 2008-12-15